

西東京市市民協働推進センター
令和元年度第4回運営委員会会議録（確定稿）

- 開催日時：令和元年7月16日(火)午後7時00分～8時00分
- 開催場所：イングビル3階第3,4会議室
- 出席委員：海老澤委員、古林委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、柴委員、樋口委員、久松委員、三好委員<以上8名、五十音順>
- 事務局：小松センター長、鈴木副センター長、山田地域福祉推進係長、青木主事

1. 報告事項

1. 業務報告について

事務局より、6月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委員長：新しく登録した西東京市カルタ製作委員会はカルタを作っているのか。すでにカルタはあるのか。

委員：現在製作中で100セット作成する予定である。

事務局：地域福祉活動助成金交付団体である。

2. 7月以降の事業について

事務局より、7月以降の実施事業について説明があったが特に質問は無かった。

2. 審議事項

1. 前回の会議録について

委員長：質問がないので確定稿とする。

3. 協議事項

1. センターの業務の執行に関する事項（重要事業の企画）について

事務局より、NPO市民フェスティバル開催までの流れ、開催概要（案）について説明があった。

委員：フレスポひばりが丘はいつ完成するのか。

事務局：10月25日にオープンする予定である。出展料も無料である。

委員：フレスポひばりが丘は商業施設で、買い物客が立ち寄ってくれるということか。

事務局：そうだ。

委員長：実行委員長と副委員長は決まったのか。

事務局：実行委員長は「環境サポーターはちどりの会」の柴さん、副委員長は「こそだてフェスタ実行委員会」の岩崎さんに決定した。

事務局より、まちづくり円卓会議（企画案）について説明があった。

委員：ひきこもりは高齢者が社会参加しないという事ではなく、このところマスコミを騒がせているひきこもりを対象にしているのか。

事務局：年齢では区切らない。若者もシニアも対象と考えている。

- 1 委員：昨年度の円卓会議はどうだったのか。今年度の円卓会議にどうつなげたいのか。
- 2 事務局：昨年度は事実を知るところから始めた。ひきこもりの現状など事実の確認や共有をした。若
3 千年齢層が若い方の話を中心だったように思う。事件も多いので、年齢層の幅を広げ、西東
4 京市のひきこもりの事実と実際に必要な支援があるのか、ないのかまで話せたら良いと考え
5 ている。
- 6 委員：防災の方面から発言すると、避難しなくてはならないのにひきこもりや孤立した人たちに情
7 報が届かないことが問題となる。データを揃えて運用していく必要もあるので、とても重要
8 なことだと思う。
- 9 委員長：昨年参加したが、ひきこもりという言葉で広報したら、若い子の親などの参加者が多かった
10 ように感じた。中高年層、シニア層の対象者に届くような広報にしないと、同じような出席
11 者層になると思う。
- 12 事務局：具体的にシニアのひきこもりとはテーマが絞られていない。社会が年齢層の高い方のひきこ
13 もりを問題にしている。それを考えると、そうなる前の年齢からも関わらなくてはいけない
14 のではないかと考えている。
- 15 委員：実際に悩んでいる方がいるので、解決の糸口が見つかるが良い。
- 16 委員長：円卓会議では行政や団体、当事者等が参加するため、実際の生の相談ができる良さがあり、
17 昨年度の円卓会議ではそれにより変化が出た家族もいる。
- 18
- 19 事務局より地域活動紹介ゆめサロン（企画案）について説明があった。
- 20 委員長：民生委員や育成会も参加すると思うが、どのような参加者を考えているのか。
- 21 事務局：ピーポ君の家等、市民の方々が参加している活動も紹介したい。自分でも出来ることがある
22 のではないかと感じて欲しいので、ハードルは高くしていない。
- 23 委員長：中原小学校では、工事期間中に「大和ハウス」の方が企業の地域貢献として登下校時の見守
24 りをしていた。
- 25 事務局：中原小学校では「おやじの会」が土曜参観に参加しつつゴミ拾い(美化活動)したり、「自治
26 会」が夜間や日中にパトロール等見守り活動をしているので、地域の大人がいろいろな接点
27 をもって活動しているという観点からピックアップしているところだ。
- 28
- 29

30 4. その他

31 1. 次回運営委員会日程について

32 日時：9月17日（火）19時～21時

33 会場：イングビル3階 第3,4会議室